

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

原地区自主防災会

事業名	1	防災強化事業(地域防災力向上事業)		
事業期間	令和4年4月～ 令和5年3月			
決算額	209,038 円		助成金充当額	50,000 円
事業対象者	原地区民		参加人数	延べ2,500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・9月1日防災訓練(大型台風を想定した防災訓練:連絡網の確認、全戸対象アンケート、自力避難困難者のリスト作成)、台風11号による実践的避難活動実施 ・原地区防災士会の立ち上げ、防災訓練の反省会、防災士の資格取得者増強他 ・自主防災会研修会(気象災害から命を守るなど)			
事業目標	全地区民対象防災訓練の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	防災訓練参加人数	300人	2,376人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 近年の災害発生状況による住民の防災意識の向上と、各自治会員への周知徹底により参加者増加			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 各自治会の連絡網の整備により、防災・防犯に対する意識と体制の充実			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 今年度は各自治会ごとの避難に対する要支援者のリストを作成したが、次年度は誰が避難支援が出来るか等、さらに具体的な活動を進めていく。 住民の防災意識を確認するため、全戸配付によるアンケート調査を、令和2年度に続き実施したが、少しの意識レベル向上になったがまだまだ不十分			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

原地区体育振興会

事業名	2	健康づくり事業(スポーツ推進事業)			
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月				
決算額	81,140円		助成金充当額	78,000円	
事業対象者	原地区民		参加人数	300人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・スポーツ事業開催(自治会対抗球技大会、ペタンク大会、カローリング大会) ・常任委員研修会 ・指導者研修会				
事業目標	スポーツ振興				
	数値目標		令和4年目標	令和4年実績	
	スポーツ事業参加人数		300人	150人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 天候不良や参加チーム不足により中止になった事業があり、当初の目標を達成することができなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地域住民との親睦、健康づくりに貢献することができた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・スポーツ事業の中には、開催しても参加チームが少ない競技がある。 ・より多くの地区住民に参加してもらうため、競技の見直しを行っていく。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 原小学校学校運営協議会
黒石中学校学校運営協議会

事業名	3	小中学校との連携事業(コミュニティスクール推進事業)		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	125,000円		助成金充当額	75,000円
事業対象者	原小学校児童・黒石中学校生徒・保護者、地域住民、教職員		参加人数	延べ約2,000人
事業内容	<p><原小学校>地域学校協働活動(地域貢献活動)の推進 ・妻崎駅の花植え(3年生児童参加)・原地区コミュニティ大運動会(全校有志児童参加)・三世代ふれあいゴルフ大会(全校有志児童参加)・原地区ふれあいまつりに出演(3年生有志児童参加)・原地区人権推進大会(6年生代表児童参加)・原地区どんど焼き(6年生代表児童・全校有志児童参加)・地域の方への感謝の会「ハートフルタイム」(6年生児童)</p> <p><黒石中学校> 学校運営協議会を開催し、中学校ができる地域貢献と地域住民による学校支援について協議するとともに、地域コーディネーターが核となって、多くの地域ボランティアに來校していただき、授業支援、環境整備など、多くの支援活動をしていただいた。また、中学生も11月に中川・地域清掃に参加し、地域貢献を行った。地域と学校が一体となった協働活動を進めることができた。</p>			
事業目標	学校評価アンケート「地域の人に感謝の気持ちをもっている。」			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	肯定意見(「はい」・「まあまあ」) 合計割合	80%以上	・前期アンケート:92% ・後期アンケート:91%	
今年度はコロナ禍においても開催可能な方法を考え、工夫し、様々な地域学校協働活動を推進することができた。その成果もあって、児童の参加意識や地域貢献意識の向上はもちろん、ほとんどの児童に地域の方への感謝の気持ちがいっしょに育っている。				
事業効果	<p><原小学校> 年間6回、学校運営協議会を開催することができ、初めて黒石中学校区3校合同学校運営協議会も実施することができた。また、6年生全児童が参画し、その保護者も交えた熟議を通して、児童や保護者、地域の方、教職員の思いや願いをすり合わせることも地域貢献や地域づくりの意欲向上に大きく繋がったと言える。</p> <p><黒石中学校> ・中学生が地域の人とふれ合う良い機会となった。・学校現場での働き方改革に繋がる活動となった。・中学生の地域に対する意識が高まった。</p>			
今後の課題等	<p><原小学校> 来年度は、黒石中学校区3校合同学校運営協議会の実施回数を増やし、中学生と共に活動する機会をもっと作り、地域のより一層の活性化を図りたい。また、本校のコミスクルームがしっかり活用されるよう、環境を整備したり、活用方法を周知したりしていく必要がある。学校運営協議会委員や地域の様々な団体が気軽に集い、授業や学校生活の様子を見ていただけるような場所にしていきたい。</p> <p><黒石中学校> 来年度以降も、是非地域と学校が連携協働する活動を進めてまいりたい。</p>			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

原地区社会福祉協議会

事業名	4	自治会福祉事業		
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
決算額	2,315,465 円		助成金充当額	839,200 円
事業対象者	原地区民		参加人数	延2,300人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ふれあい・いきいきサロン活動(延26人)・敬老事業支援(記念品配布:1,360人)・福祉委員研修会(延57人)、福祉委員民生委員合同研修会(46人)・長寿者祝賀事業(ふれあい昼食会の代わりに弁当配布:333人)・高齢者ふれあい訪問活動推進(延450人)・諸団体の福祉活動支援・「福祉だより」発行(年4回)			
事業目標	各自治会で高齢者の長寿を祝い、末永い健康を祈ることを目的とした敬老事業の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	敬老事業参加人数	1,000人	1,360人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍で敬老会が開催できないため、敬老祝いの訪問と記念品配布を実施した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 子どもから高齢者まで、地域での助け合いや支え合いなど、地域福祉活動の推進			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 今後も進むと予想される少子高齢化に備え、ご近所同士で出来る関係づくり等高齢者福祉の充実			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

根っこの会、子ども委員会、ふれあい運動推進委員会、まちづくりサークル、蓮鼓太鼓

事業名	5	原っ子健全育成事業		
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
決算額	336,900円		助成金充当額	334,400円
事業対象者	原小学校児童、黒石中学校生徒、原地区民		参加人数	延491人
事業内容	・門松作成・輪飾り、ミニ門松作り教室・地域行事支援・定例会・委員研修会 ・子ども太鼓、蓮鼓太鼓の後継者育成(月2回の練習)・太鼓演奏(原小まつり、黒石中文化祭、新年互礼会)・和太鼓体験会 ・放課後子ども教室、稲作体験・炭焼きパン作り、キャンプ・通学合宿 ・通学路安全確保、見守り声かけ、街頭補導、標語ポスター等での啓発活動、子ども110番の家、ふれあい運動推進員情報共有研修会 ・環境整備(春・秋:駅の花壇整備)(60人)・料理教室(男・親子・お魚)(延べ25人)・健康ハイキング(20人)・探検&ウォーキングマップ「黒石・原お宝発見プロジェクト」作成			
事業目標	・学童の成長支援 ・学習や体験活動を通して子ども達の健全育成の手伝いをする。 ・合同街頭補導実施。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	事業参加人数	延500人	延491人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナの蔓延で企画を立てづらかった(まちづくりサークル) ・コロナ禍のため、合同補導活動は中止としたが、各自で見守り活動をすることにした。(ふれあい運動)			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・稲作体験やキャンプで自主性が育めた。(子ども委員会) ・子ども達の健全育成の一助、地域住民への周知。(ふれあい運動) ・地域住民同士が集い活動することで地域の連帯感を強める(まちづくりサークル)			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・子ども会、老人会等と連携を図り楽しく継続性のある活動をしたい。(まちづくりサークル) ・現状に対応した活動(特にネットでの影響)、委員の委嘱。(ふれあい運動) ・太鼓参加者が減少しているため、宣伝をいかにするかが課題。(蓮鼓太鼓・子ども委員会)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 原地区人権教育推進委員協議会

事業名	6	人権啓発事業		
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
決算額	135,000円		助成金充当額	15,000円
事業対象者	原地区民、厚南地区民、学童保育		参加人数	約330人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・原地区人権教育推進大会(41名)・4地区人権教育合同研修会(17名)・子どもと大人の人権学習会(49名)・人権作文、ポスター、標語、習字作品(32名)・小中学校授業参観(13名)・推進委員研修(100名)・自治会学習会(63名)			
事業目標	人権教育研修会等の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	人権教育研修会等合計参加人数	450人	330人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍で研修会等が中止になったり人数制限があったため			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 委員自身が市や県の研修を受けて、人権意識を高め各自治会での学習会、地区内での研修会等を実施			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 全地区民が人権意識を高め安心して暮らしやすい地域にするために学習会や研修会等の参加人数を増やす			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

原地区交通安全対策協議会

事業名	7	交通安全推進事業		
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
決算額	99,940 円		助成金充当額	30,000 円
事業対象者	原地区交通指導員、推進委員		参加人数	約80人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・春夏秋の交通安全週間の立哨 ・小学校児童登下校時立哨 ・子どもの通学歩道における安全確保			
事業目標	事故の無い安心安全な交通環境をつくる			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	参加人数	延800人	延べ800人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 毎日の立哨、登下校時の立哨で達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 児童に対して挨拶や善悪を注意しつつルールを守るようになったと思います。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけていきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会原支部

事業名	8	環境美化事業		
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
決算額	388,831 円		助成金充当額	90,000 円
事業対象者	原地区民		参加人数	延2300人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・緑のカーテンづくり、駐車場草刈り・梅田川清掃作業(128人)・中川清掃作業(171人) ・春期美化活動、第一回全市一斉空き缶等回収(延995人) ・秋期美化活動、第二回全市一斉空き缶等回収(延907人) ・支部外研修(施設見学):宇部市環境保全センター(19人) 北九州市エコタウンセンター(21人) ・原支部地区内美化パトロール(年2回)・ごみの分別指導・啓発活動			
事業目標	地区で美化活動を実施し、ゴミのポイ捨てや不法投棄の減少を目指す			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	梅田川清掃参加者	100人	128人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 身近な川をきれいにし、住みよいまちづくりを推進する地域住民の環境美化意識向上			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 環境美化活動を行うことで、生活環境をより良いものとする			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ゴミのポイ捨て、不法投棄が後を絶たないため、地区全体で引き続き美化活動を実施			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

原郷土史研究会

事業名	9	地域資源活用事業			
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月				
決算額	34,000 円		助成金充当額	20,000 円	
事業対象者	原地区民		参加人数	延べ200名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・原、厚南地域および周辺地域の郷土史研究 ・原小学校3年生(50名)への地域の歴史について出前授業実施 ・原老人連合会主催の高齢者学級(40名参加)での郷土史に関する講演実施 ・厚南郷土史研究会、宇部地方史研究会などとの共同歴史研究、冊子への投稿、講演会実施など				
事業目標	地域の歴史研究の成果を地域の人たちに知らせ、史跡など郷土の財産を大切に伝承し、郷土に誇りを持ち、郷土愛を深める人材を育てる				
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績		
	郷土史研究会実施	20回	22回		
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍ではあったが、例会・研究会は予定通り実施できた。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 例会・研究会の成果を地域の高齢者・子どもたちに伝承することができた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・今年度実施予定であった史跡看板の整備が実施できなかったため、次年度実施する。 ・小学校への歴史授業の拡大(現在は3年生のみ対象)、中学校への出前歴史講座への拡大。 ・老人会のみならず地域住民を対象にした歴史講演会への拡大。 ・史跡を訪ねるウォーキングなども実施したい				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		①	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		①	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		①	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

原地区コミュニティ推進協議会

事業名	10	コミュニティ行事運営事業		
事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
決算額	705,705 円		助成金充当額	25,200 円
事業対象者	原地区民		参加人数	延べ2000人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・10月2日：原地区コミュニティ大運動会(600人) ・10月22日：3世代グランドゴルフ大会(100人) ・10月30日：原ふれあいまつり(800人) ・1月8日：どんど焼き・凧揚げ大会(400人)			
事業目標	多世代が参加できる行事や活動を通じて、若い世代にも地域の良さを知ってもらい、魅力ある地域づくりを目指す。目標として各種行事の参加者を前年度より増やす。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	原ふれあいまつり参加者	500人	800人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) 相変わらずコロナ禍が続いている中で、やる方法を考え、各種行事を実施する方針を出した結果、残念ながら夏祭りのみ実施できなかったが、他の行事は縮小するなどにはあったが、ほぼ実施できた。参加人数はコロナ禍以前にはおよばなかったが、目標を上回る成果となった。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 大運動会(半日開催)、ふれあい祭り(以前は2日間実施していたが、今回は1日開催)を3年ぶりに実施したが、予測以上に参加者があり、賑わいを取り戻した感じがした。 どんど焼きにはぜんざいの接待(400人分)、凧あげ大会へは参加賞のみならず新たに賞品を設けた。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3